

座談会

Oracle Application Server 10g の評価・検証作業を終えて

【出席者】

NTTコムウェア(株) オープンソースソフトウェア推進部 技術SE部門
 佐々木道人/ITアーキテクトグループ スペシャリスト 上村 健一・竹内 和彦/ITアーキテクトグループ
 日本オラクル(株) プロダクトSC本部 テクノロジーSC部
 田原涼太郎/アプリケーションサーバーグループ シニアマネジャー 佐藤 裕之/アプリケーションサーバーグループ シニアエンジニア
 針原 英克/アプリケーションサーバーグループ エンジニア 河和 美樹/データベースグループ エンジニア
 日本オラクル(株) 通信インダストリー本部
 松本 修也/通信SC部部长

この2月、NTTコムウェアと日本オラクル共著によるOracle Application Server 10gの運用管理者向けガイドブックが刊行された。ベースとなったのは、NTTコムウェアでの評価・検証作業を通して得た知見と、日本オラクルの技術情報だ。評価・検証及びガイドブック執筆に関係した方々にお集まりいただき、それぞれの想いを語っていただいた。(編集部)

双方にとって、実りの多かった 長期間の評価・検証作業

松本 NTTコムウェア様には、机上及び実機を含め約1年間かけて、Oracle Application Server 10gの評価・検証を行っていただきました。この2月には、その評価・検証結果を踏まえて、両社の共著による『Oracle Application Server 10g運用管理徹底ガイド』を刊行しました。本日は、製品評価者と提供者の双方で、評価作業を振り返り、その間のエピソードも含めフリートーキングをしていただきたいと思います。

田原 アプリケーション・サーバ



松本 修也 日本オラクル

製品は後発だったこともあり、なかなかマーケットシェアを伸ばせずにいた状況を打開するため、日本オラクルでは一昨年、開発者向け無償セミナー（ハンズオントレーニング）「Oracle9iTOPGun」を全国で開催していました。ここにご参加いただいたことが、NTTコムウェア様に私どものアプリケーション・サーバ製品を評価・検証していただくことになったきっかけでしたね。

佐々木 そうですね。一昨年の6月頃に参加させていただきましたが、当時、私どもは他社製品の評価・検証作業を行っていました。それと合わせて、Oracle Application Serverの評価・検証を本格的にやろうと決めたのが2004年の1月でした。なぜ私どもが、複数のアプリケーション・サーバ製品を評価・検証するかといいますと、SIベンダーとしてケースによってアプリケーション・サーバを使い分けることができるといことと、プロジェクトがリリースされ



佐々木 道人 NTTコムウェア

たばかりの製品をすぐに使ってSIを始めると、不具合やトラブルに遭遇することが多いので、事前に評価・検証することにより、信頼性を担保しておく。合わせて、お客さまに提案する際に、性能や機能の違いを求められますので、それも評価・検証の過程で把握しておくのが目的で



田原 涼太郎 日本オラクル



竹内 和彦 NTTコムウェア

す。評価・検証した結果、アプリケーション・サーバについては、Oracle Application Serverを含む3製品が標準推奨品に合格しました。

上村 今回の評価・検証は、NTTコムウェアが独自に開発したJ2EEフレームワーク「Raspberry (ラズベリー)」^(注)を基本的な軸にして行いました。

松本 その点で一番のキーポイントは、Oracle Application ServerのJavaの実行環境がRaspberryをサポートできるかどうかだったと私は思います。

佐藤 アプリケーション・サーバとしての標準J2EEがあって、それは当然どのアプリケーション・サーバ製品でも同じでなければならないわけですが、標準J2EE + 各製品が固有で拡張している部分があります。しかも仕様が膨大なため本気で調べようとするとそれ相応の時間が必要です。ところが、多くのベンダーさんやSIerさんはそんな時間はとれないとあって、適当にサンプルを動かしてみても、動いたから取りあえず使ってみようということを使って、プロジェクトを失敗する場合が多々あります。しかし、NTTコムウェア様には、細部までしっかりやっていた

だき、問題をつぶすことができたので非常に良かったと思います。

河和 確かにこれほど長い期間をかけて、細部にわたって製品を評価・検証していただいたのは、私どもにとって初めてのケースでした。オラクルにとって、製品をブラッシュアップしていくという意味で、非常に有り難かったですね。また、NTTコムウェア様のお客さまにも、安心して使っていただけるという点で、双方にとって非常に実りの多い評価・検証作業だったと思います。

サポート面に加え、コストパフォーマンスの良さを高く評価

松本 バグもいくつか発見されましたし、NTTコムウェア様からのエンハンスメントリクエストもいただきました。

河和 製品の不具合については、最短2日間で修正することができました。また、製品のエンハンスメントに関しては、米国本社に特別なリクエストを出しています。

佐々木 スピーディに対応していただき助かりました。

田原 とにかくSIのツールとしてNTTコムウェア様に活用していただきたいという強い想いがありましたので、日本オラクルとして万全の体制を敷きました。通常、製品の不具合対応はサポート部門を通して米国本社の開発部門に報告し修正(パッチ)を入手するのですが、今回は、DDR Japan (Diagnostics & Defect Resolution in Japan) という日本オラクルに所属し、ワールドワイドのソ



上村 健一 NTTコムウェア

ースコードに対する修正(パッチ等)を作成する部隊と密に連携をとりつつ検証プロジェクトを進めました。

竹内 その点は、非常に助かりましたね。私は、正直、初めはデータベースベンダーのアプリケーション・サーバ製品という先入観から、大丈夫かなと思っていました。しかし実際に評価・検証してみて、性能も高いレベルにあり、対応も迅速で、当初のイメージは私の中では完全に払拭されました。ただ、使い勝手の面で例えば保守・運用に関するメッセージの一覧機能がないといった点がありましたが、これについては機能拡張をお願いしています。

松本 「Oracle 9i TOPGun」に参加していただき、厳しい感想をお聞きした時は、正直、評価・検証していただけないのではないかと思います。市場的には後発ですが、ソフトウェアとしての製品と、サポート



佐藤 裕之 日本オラクル



河和 美樹 日本オラクル

の面では自信はありました。しかし、実際にSIをやられるエンジニアの方々から具体的に不足している機能をご指摘いただいたのは、先ほど河和がいいましたように非常に良かったと思っています。

佐々木 他の製品も、実はそういった機能はありませんでした。1社だけ、我々の要望に対応した製品をだされました。それ以外は、遜色はありませんし、逆にコストパフォーマンスは優れていると思いますよ。

上村 確かに、後発であるが故にその分いろんな機能が盛り込まれているので、高機能になっています。先行の製品はシンプルですから、それと比べると、高機能すぎてとっつき難い面があると思いますが、それは慣れで解決できると思います。慣れるにしたがって、機能を活かせるようになると思いますよ。

佐藤 出力されるエラーメッセージに関しては、御社の要望を米国本社に上げたところ、Oracle Application Server 10g Release2では、各ドキュメントにトラブルシューティングという項目があり、それぞれのコンポーネントごとにエラーの解決ができるように体系化されています。確かに、Oracle=データベー

スベンダーというイメージが強すぎて、私どもの製品を懐疑的にみる方が多いので、いかに慣れていただくようにするかが課題だと思っています。

お客様とのハブの役割を果たすSC

竹内 評価・検証作業を行っている間は、河和さんは間に挟まって、大変だったと思いますよ…。

河和 SC（セールスコンサルティング）の仕事は、お客様と日本オラクルのハブとして動くことですので、NTTコムウェア様にとってOracle Application Server がいかに使いやすいものになるかということを考えて、社内との関係セクションとの間を走り回る日々が、ある時期続きました。どうしても、NTTコムウェア様に使っていたかたかったですし、NTTコムウェア様からみたときにOracle Application Server を使って良かったといわれるような製品にしたいという一心でしたね。

佐々木 河和さんに走り回っていただいた甲斐もあって、私どものSI案件で、Oracle Application Server を使ったプロジェクトがいくつか出始めています。

運用管理者向けでは初のASガイドブックを共著

針原 かなりの工数をかけ評価・検証していただいた結果、システム運用やパフォーマンスチューニングの方法をはじめかなりのノウハウをNTTコムウェア様は蓄積されました。私どもとしては、現場のSEの役に立



針原 英克 日本オラクル

つようなガイドブックの形で1冊の本にまとめたいと思い、共同執筆をお願いしましたところ快くお引き受けいただき、刊行することができました。私どもだけですと、どうしても製品の使い方の解説に終始しがちですが、現場で実際に使っていないと分からないノウハウが詰まっています。

佐藤 Oracle Application Server で、開発者向けの技術書籍はありますが、運用管理者向けのもは、今回は初めてですね。

針原 その意味でも、今回の書籍はOracle Application Server 10gを使ってシステム開発・運用作業を行う方々に対し、貴重な技術情報を提供することができたと自負しています。

松本 SIベンダーであるNTTコムウェア様だからこそ分かる視点、しかも他社製品も使われているということからも、私たちにとっても非常に勉強になったと思います。

田原 竹内様には、随分土日をつぶして、書いていただいたと聞いており、感謝しています。

松本 時間がまいりましたので、このへんで終了させていただきま。本日は有り難うございました。

(注) RaspberryはNTTコムウェアの登録商標です。

Oracle Application Server 10g Release2

SOAの実現に向けた機能を強化し エンタープライズ・グリッドへの適応を目指す

日本オラクルは、SOAを中心に機能を拡張し、エンタープライズ・グリッドコンピューティングへの適応を目指す、Oracle Application Server 10g Release 2の出荷を2005年2月から開始した。本稿では、新しく搭載されたSOA実現のための新機能と、エンタープライズ・ITアーキテクチャーの統合について紹介する。

Oracle Application Server 10g Release 2 の提供開始

日本オラクルはアプリケーションサーバの最新版である「Oracle Application Server 10g Release 2」（以下、Release 2）の出荷を2005年2月25日から開始した。Release 2では、SOA（サービス指向アーキテクチャ）を中心に大幅な機能強化を図っている。また、急速に発展するJavaやインテグレーション、Webサービスのビジネス領域に対応する最先端の技術を取り入れることと、品質向上を行い、エンタープライズ・グリッドコンピューティングへの適応を目指している。

「日本オラクルは、データベースと

アプリケーションサーバの2つの製品を持ってビジネスを行っています。あらゆる業界の企業システムにおいては、データベースシステムとアプリケーションサーバは非常に重要なシステムになっています。

インターネットやWebシステムでビジネスを行う場合にデータベースサーバとアプリケーションサーバはインフラになっており、データベースサーバとアプリケーションサーバの設計が重要になります。」（日本オラクル（株）テクノロジープロダクト統括本部 テクノロジープロダクト推進部 担当ディレクター 西脇 資哲氏）



日本オラクル（株）
テクノロジープロダクト統括本部
テクノロジープロダクト推進部
担当ディレクター
西脇 資哲氏

ミドルウェア統合による運用管理 コストの削減

企業にとってこの重要なデータベースサーバとアプリケーションサーバを別々のベンダーから調達することは、今や非常に大きな運用コストを生んでしまうことになる。たとえば、パフォーマンス劣化の問題。パフォーマンスのボトルネックがどこなのか、チューニングポイントはどこなのかを解決するために非常に多くの時間とコストを必要とする。これはミドルウェアが分断されているからであり、サポートするベンダーがバラバラになっているからであり、管理ツールが統合されていない



1 Source: IT Spending and Demand Survey, Gartner, Oct. 02.

図1 ミドルウェア分断化による弊害

からである。

このような、ミドルウェアの分断化により、昨今の企業の情報システム投資額は、調査によると80%が維持・管理コストとなっている。維持・管理コストの内訳は、統合管理ツール不在による管理コスト、データベースやアプリケーションサーバの管理コスト、サポートなどにかかる人的コスト、さらに最も占める割合が多い人的コストである（図1参照）。

オラクルはこのような課題の解決に向けて状況変化により、追加や変更が加えられるSOAを基盤としたインテグレーションの機能を搭載したRelease 2を提供する。

「Oracle Application Serverは、他社の製品に比べて、ベンチマークテストにおいて最速の性能、豊富な機能をサポートしています。また、オラクルは、データベースを基本としたクライアント・サーバ時代からの豊富な実績があります。これにJavaやWebなどの新しい技術を追加してきました。

しかし、これら要素だけでは、維持・管理コスト削減という課題を解決できません。運用管理コストの削減やサポート体制の統一による運用管理コストを意識した維持・管理コストを削減するために、データベース、アプリケーションサーバ、管理ツールにOracle Enterprise Managerという統合型ミドルウェアをご提案しています。そして、お客さまにとって、最もふさわしいEAを実現します。



図2 SOAのシナリオ

メンテナンスコストにおいては、Oracle Enterprise Managerとの統合強化により、データベースサーバとアプリケーションサーバの2つインフラを同時に管理することが可能になり、ROIの効率化と管理性が向上します。」（前出 西脇 資哲氏）

SOAのシナリオ

日本オラクルは、SOAのシナリオを作って、統合して、連携して、分析して、運用して、管理して、守って、使つての8つのシナリオで考えている（図2参照）。従来のSOAの考え方は、テクノロジーのみが先行していた。Webサービス化したアプリケーションをどのように統合するかが重要である。オラクルは、ミドルウェアを統合すること推奨している。Release 2は、SOAの全シナリオに対応する機能を提供しているハブになっている。

SOAの実現に向けた機能の強化

Release 2では、既存システムや他社システムとのデータレベルの統合機能 OracleAS Integration InterConnect、取引先企業とのビジネス・プロセス統合機能を提供する OracleAS Integration B2B、共通言語BPELをサポートしたWebサービスレベルの統合機能BPEL Process Managerの提供、商用アプリケーションサーバ初のIPv6対応などSOA実現のための機能を強化した。このように、Webサービスの統合と連携のシナリオについて主に機能を強化している。

さらに、RFID（無線タグ）のデータも含めた連携を実現する Sensor Edge Serverを提供する。

お問い合わせ先

日本オラクル株式会社

Oracle Direct

TEL : 0120-155-096

新刊紹介

『Oracle Application Server 10g 運用管理 徹底ガイド』

NTTコムウェア(株)+ 日本オラクル(株) / 著 日本オラクル(株) / 監修 技術評論社 / 発行

Oracle Application Server 10g上でのJ2EEシステム設計者 / 管理者 / 運用者が必要としている実践的な技術情報を取りまとめた好個の書。

本書は、NTTコムウェア(株)オープンソースソフトウェア推進部が、機能面、性能面、運用面から製品の評価を行った過程で培ったシステム運用やチューニングのノウハウに加え、日本オラクル(株)が実案件プロジェクト支援で培ったシステムアーキテクチャ設計手順や各種ツールの使用方法などを紹介している。

J2EEアプリケーション実行環境の技術情報に主眼を置いているものの、Oracle Application Server 10gが提供するJ2EE実行環境を核としたすべての提供サービス (Portal / Business Intelligence / Service-Oriented Architecture など) の基盤技術情報としても役立つような内容となっている。また、現時点での最新バージョン Oracle Application Server 10g Release 2 での利用も想定して書かれている。

本書は、Oracle Application Server 10gの評価の中で得られた評価者の知識と、提供ベンダーのノウハウを融合した形で取りまとめられているため、Oracle Application Server 10gを利用したシステムの運用時または、利用時に直面する疑問点の解決のために、非常に役立つ実践的なガイドブックといえる。Oracle Application Server 10gを用いたシステム開発・運用に従事される方々の座右の書としてお勧めしたい。



< 内容目次 >

第1章 Oracle Application Server 10gの導入

第2章 Oracle Application Server 10g 運用管理基礎

第3章 Oracle Application Server 10gのパフォーマンスチューニング

第4章 Oracle Application Server 10gのクラスタリング

第5章 Oracle Application Server 10gのセキュリティ管理

第6章 Oracle Application Server 10gの障害対策機能

付録 詳細なインストール手順や各種設定ファイル、ログファイルのリファレンス

付属CD-ROM Oracle Application Server 10g (9.0.4) for Linux x86 J2EE & Web Cache Edition

30日間トライアル 版

第2章、第4章で使用するサンプルアプリケーション

< B5変形・368頁 定価：3,759円 (本体3,580円) >